



(工場全景)

# 有限会社正木精密板金工作所

和歌山市岩橋

## 多品種少量生産に対応

### ～中・厚板の曲げ加工、鋼材・製罐加工～



代表取締役社長  
**正木昭彦**さん

◇御社の歴史を教えてください。

当社は先代の社長が昭和四一年に創業し五十年になります。当初は建築板金なんかも行っていたようですが、その後機械等のカパーなど工場板金を始めました。薄板の曲げ加工などから始めましたが、中・厚板の加工が多くなってきました。

◇ものづくりへのこだわりは？

現在は、中厚板を中心に曲げ加工等を行っています。お客様の要望に合わせて、シャフトの曲げやアングルの加工など製罐・鋼材関係など加工の仕事も行っています。当社の強みは従来の曲げ加工だけでなく、製罐・鋼材などの加工ができることにも、多品種少量生産に対応できることです。

◇従業員の人材育成は？

現場でやってもらいながら育成していきます。現場の人間の間隔がわかるような人になっ



(ハイブリッドプレスブレーキ)

てもらうことが大事だと思いますね。

最近の機械は、NC化されていろいろなソフトが入っています。そのため図面データの管理を出来るのが大事になってきています。事務の仕事の人でもデータの管理が出来ることが必要になっていきます。曲げのレベルを機械でカパーできる時代になってきているわけで、そういう新しい仕事もこなせることが必要になってきています。従来の技術も大事で、そういう仕事ももちろんあります。現場でやって、覚えてもらっています。新しい時代にも対応していくことが大事ですね。

◇ポリテクセンターから採用した感想をお願いします。

今は一生懸命やってくれています。一般の方も採用しますが、安全面を含めて基礎的な事を教えてもらっており、ポリテクの修了生はしっかりしています。現在は溶接の仕事をしてもらっている人と、仕分け関係を行ってもらっている人がいますが、頑張っていますよ。

◇ポリテクセンター和歌山に期待することは？

基礎をしっかりとやってもらうことが大事だと思います。さらに、3次元CAD等の新しい時代のものも、しっかりとやっていただけたらと思います。

(令和元年6月取材)

## 修了生の声(溶接加工科)

溶接加工科 平成31年3月修了  
浦西 真由美 さん(44歳)



もともとは介護職をやっていましたが、全然違う仕事をやりたかったところ、ハローワークでポリテクを勧められ、受講することにしました。

ポリテクでは、溶接だけでなく、

PDCAや、仕事に対する取組み姿勢など、いろいろな事を教えてもらいました。

今の仕事は、レーザー加工の作業指示書の管理を行っています。作業指示書を作成工程毎に分けて管理する仕事です。自分が管理している指示書にしたがって、いろいろなものが出来てきたものを見ると、やりがいを感じます。

将来は、溶接工になりたいと思っています。時々、溶接作業もおこなっていますが、まだまだ、厳しい道と思っています。

女性の方も、頑張っている姿を見て欲しいと思います。

## 修了生の声(溶接加工科)

溶接加工科 平成30年6月修了  
石谷 剛 さん(40歳)



ポリテクセンターに入る前にはサービスマン等の管理職をやっていましたが、求人を見たら溶接の就職が高くて、勉強しようと思いました。

現在は、主に溶接の仕事をやっています。技術もですが、機械の取扱いの仕方などが役に立っています。図面の段階から、仕上げ、ひずみとり等が役に立っています。

今は一人前の溶接工を目指していますが、まだまだ遠いですね。周りの人のレベルが高いので、仕事を覚えながら、早く一人前になりたいと思います。

溶接をするについては、初めは不安もありましたが、やってみると、良かったと思います。先輩にも、訓練に自信を持って取り組んでもらえればと思います。